

夢を追う 出会いが背中押す

全国巡る作家・今村さん 米沢東高で講演

直木賞作家の今村翔吾さんが22日、米沢市の米沢東高（小林由美子校長、378人）で講演した。全校生を前に、小説家を目指す後押しとなったダンスインストラクター時代の教え子とのやりとりなどを紹介。夢をかなえるために必要なことを伝えた。

今村さんは、夢を諦めないよう説いた教え子から「翔吾君も諦めているくせに」と言われたことが本気で小説家を志すきっかけとなったという。「彼女の一言がなければ書き始めていなかった」と振り返り、「夢をかなえるためには努力、才能に加えて人との縁が特

に重要。一人ですることが高が知れている。出会いを大事にしてほしい」と呼び掛けた。

趣味で小説を書いているという生徒からは「展開に迷うことはないか」との質問も。「物語の展開にはいろんな可能性がある。時々俯瞰して自分が最も面白いと思う道を進んでいる」となると明かした。3年黒田実

久さん（仮）は「直木賞受賞作の『塞王の楯』に引き込まれ、講演を楽しみにしていた。将来の夢に近づけるよう努力したい」と話した。

今村さんが5月から47都道府県の書店や学校などを巡る「今村翔吾のまつり旅」の一環。同校の吉田英生事務長が大ファンで応募した。計約290カ所を訪れ、9月24日に「羽州ぼろ鷹組」シリーズなどでゆかりの深い新庄市で最終日を迎える予定。

（大坪千絵）



自身の経験を基に、夢をかなえるために大切なことを伝える今村翔吾さん
＝米沢市・米沢東高